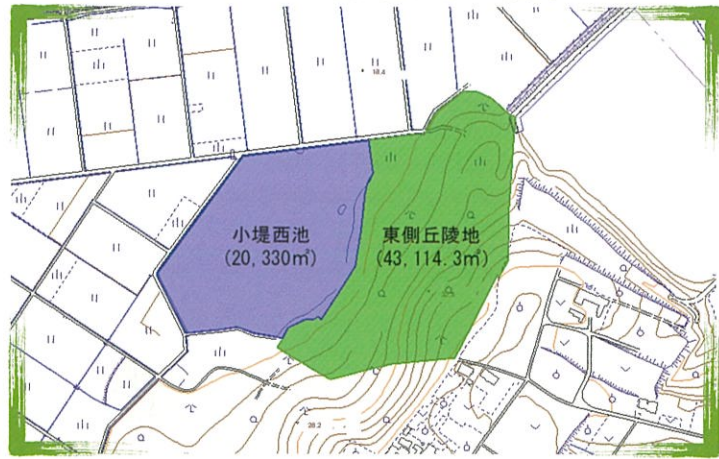


天然記念物指定区域図



見学時の注意

—群落保護のためご協力ください—

- 指定区域内に立ち入らない
- 動植物を採取しない
- 動植物を持ち込まない
- ゴミは持ち帰る

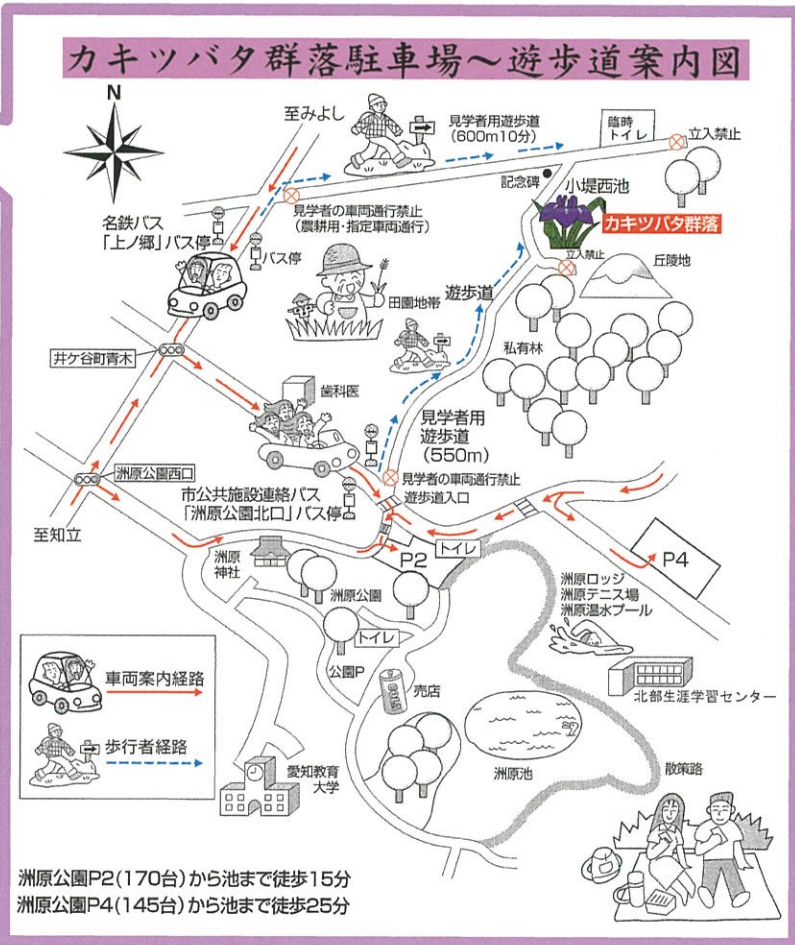


国指定
天然記念物



こづつみにしいけ
小堤西池のカキツバタ群落

◇花の見ごろ / 5月の中旬



□所在地 / 愛知県刈谷市井ヶ谷町小堤西1
 □交通の便 / 名鉄バス (名鉄知立駅前から)
 「イオン三好店アイモール前」又は「日進駅」行きで「上ノ郷」バス停で下車。池まで徒歩10分。
 刈谷市公共施設連絡バス (無料)
 「東境線」で「洲原公園北口」下車、池まで徒歩約15分。
 ※自然保護のためカキツバタの開花期は車の乗り入れを規制しています。
 駐車場は南側の洲原公園駐車場をご利用ください。

小堤西池は刈谷市最北部の井ヶ谷町にある面積 20,330m² の池で、京都・大田ノ沢、鳥取・岩美町の唐川と並び国の天然記念物に指定された日本三大カキツバタ自生地の一つです。
 小堤西池にはカキツバタをはじめ水生・湿生の植物が数多く自生しています。また、多くの動物の生息も確認され、市内でもっとも自然が豊かな地域です。この池に見られるカキツバタ群落は学術的にも貴重なものとして、昭和13年8月、「小堤西池のカキツバタ群落」として国の天然記念物に指定されました。その後、刈谷市は小堤西池の水源として重要な役割を果たしている東側の丘陵地約43,000m² を国・県の助成を得て買収し、追加指定を受けました。また、昭和53年3月には県の自然環境保全地域にも指定されました。
 刈谷市はこの貴重な小堤西池の自然環境を守り、後世に引き継いでいきます。



小堤西池のカキツバタ

開花時期には青紫色のさわやかな花が緑一面の湿地に咲きます。穏やかな田園風景の中、自然のまま楚々として咲く姿は素朴な美しさがあります。この池に見られるカキツバタの花はさえた青紫色が多いですが、中には赤紫色の花もあり変化に富みます。また外花被(がく)や内花被(花びら)の形・数の違う変異種も見られます。

カキツバタはかつて西三河地方に広く自生していたと考えられていますが、現在では小堤西池が唯一の自生地となっています。

開花時期

5月上旬に咲きはじめ、5月いっぱい咲きます。見ごろは中旬ごろです。池の周辺部に多く、中央部のカンガレイ群落内や水深の深い場所にはカキツバタは生育していません。

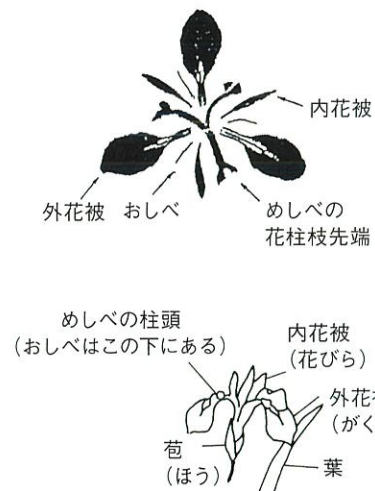
増え方

カキツバタは主として地下茎で増えますが、秋には種子が熟して水面や地上に弾け落ち、翌年の春に発芽して生長します。

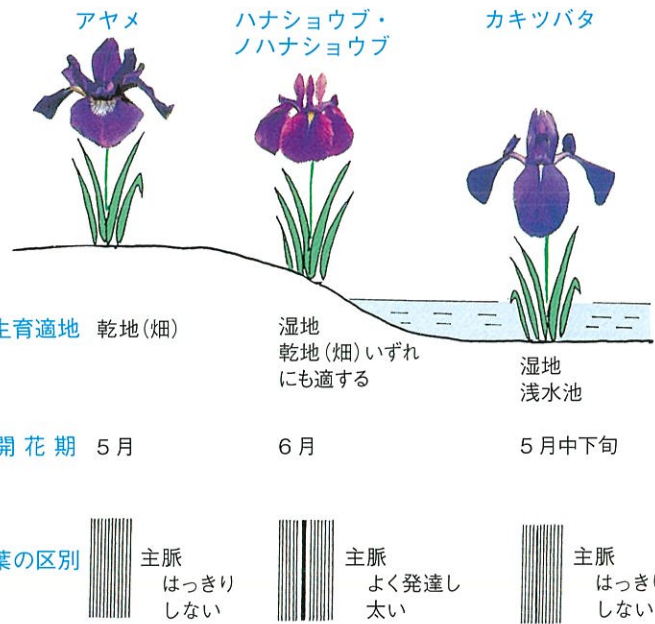
手入れ

小堤西池のカキツバタは必要以上には手をかけず、できるだけ自然のままにしてあります。そのため栽培したものとは比べ株ごとに花のつき具合や咲く時期などにばらつきが生じます。また、肥料を施さないため背丈は栽培したものに比べ低くなっています。

カキツバタのつくり



アヤメ、ハナショウブ、カキツバタの区別点



保護活動

昭和36年以来、地元の中高生や青年団員などによりカキツバタをおおいかくすほどひろがったアンペライ等の除草が進められるようになり、昭和51年には地元有志による「小堤西池のカキツバタを守る会」が結成され、池の除草作業をはじめとする保護活動を現在まで継続的に行っています。昭和59年には専門家による「小堤西池カキツバタ群落保存対策調査委員会」が設立され、以来、植物群落の生態、水質等の保全に関する調査研究も行われています。

保護活動には多くのボランティアの方に協力をいただき、調査委員会の指導のもと主に次のことを実施しています。

- 池内におけるヨシ、アンペライなど必要最小限の除草作業
- 池の水源として重要な東側丘陵地を適正に管理・保全するための竹等の伐採

カキツバタばかりが目されがちですが、小堤西池や東側丘陵地の多様な動植物を守ることもつながっています。



小堤西池と東側丘陵地



東側丘陵地

東側丘陵地は、標高約17mの池の面から高低差約20mの斜面をコナラ林や竹林などが覆っています。小堤西池には用水は流入しておらず、この丘陵地等に降った雨の表流水、地下水が池の主な水源となっています。

地面の踏みしめによる地下水への影響や森林内の植生を守るため、また衣服に付着してくる区域外の種や虫を入れないために、普段は立ち入りを禁止しています。



小堤西池で見られる植物

写真提供：浜島繁隆 (元小堤西池カキツバタ群落保存対策調査委員)

小堤西池には、カキツバタをはじめ多様な水生・湿生植物が生育しています。この池のカキツバタ群落は我が国で他に例をみない大規模なもので、大変貴重なものです。しかし最近、この池から姿を消す植物がみられるようになりました。現在、カキツバタ群落と池の周辺に残る希少植物の保存・復元に取り組んでいます。



カキツバタ(アヤメ科)
花期：5月中旬～下旬



ノハナショウブ(アヤメ科)
花期：6月上旬～7月



サギソウ(ラン科)
花期：7月～8月



ナガボノアカワレモコウ(バラ科)
花期：7月～10月



コバノカメツル(ガガイモ科)
花期：7月～9月



カンガレイ(カヤツリグサ科)
花期：7月～10月



ミズオトギリ(オトギリソウ科)
花期：8月～9月



ミズギボウシ(ユリ科)
花期：8月～9月



ミミカギサ(タヌキモ科)
花期：8月～10月



コマツカサスキ(カヤツリグサ科)
花期：8月～10月



スイラン(キク科)
花期：8月～11月



ヤマラッキョウ(ユリ科)
花期：9月下旬～10月



小堤西池で見られる動物

写真提供：鈴木達夫 (元小堤西池カキツバタ群落保存対策調査委員)

小堤西池は豊かな自然が残っているため、数多くの動物も見られます。池やその周辺にはカルガモ、サギの仲間、ケリ、キジなどの野鳥がすんでいます。その他、池にはメダカ、カエル類、オオタニシなどがすみ、トンボ類も多く見られます。また、池の土手や湿地にはマムシがいるので注意が必要です。



ダイサギ
見られる時期：通年



オニヤンマ
見られる時期：6月～8月



ウチワヤンマ
見られる時期：6月～8月



メダカ
見られる時期：通年